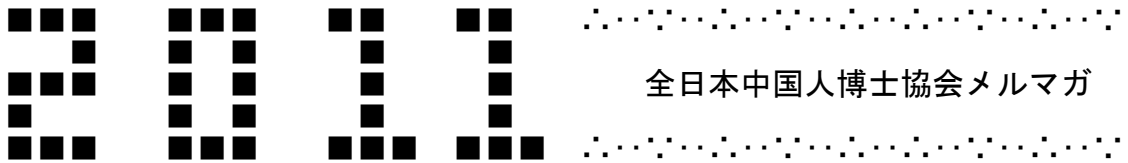


==*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^=*^==



全日本中国人博士協会メルマガ

☆☆☆ 2011年5月1日 第48号 ☆☆☆

この度、東日本大震災の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

★ご投稿、ご意見、ご要望：mailmag@casej.jpまで

~~~~~  
本期内容

- ◆編集者語 ----- 李 卿
- ◎第10期理事会の報告 ----- 李 磊・劉 真
- ◎第10期理事会選挙結果について ----- 張 偉・高 紋・凌 霄・方素平
- ◎震災救済の呼び掛け ----- 東日本大地震救援緊急対応本部
- ◎協会震災救済の過程 ----- 事務局 李睿栋・徐大威
- ◎義捐金募金の報告 ----- 事務局 蘇 洲
- ◎会則改訂近況報告 ----- 藤勁兵
- ◎全国政協向海外僑胞征集提言和建議 ----- 事務局
- ◎会員寄稿
  - ・災害に備え・日本で生活する ----- 故郷雲
  - ・千紫万紅高尾山、森林浴好季節 ----- 張 偉
- ◎会員状況 ----- 事務局
- ◎投稿募集 ----- メルマガ編集委員会

◆編集者語

李 卿

この度、東日本大震災の被災者の皆様に対して謹んでお見舞い申し上げます。継続選挙と震災の影響でメルマガの発行はしばらくの間に中断しましたが、5月からメルマガの発行を再開致しました。

今日は、5月1日、メーデーで、中国では「国際労働節」と言い、祭日に当たり、その前後に3連休です。日本では、5月を皐月（さつき）と呼び、この月は田植をする月であることから「早苗月（さなへつき）」と言っていたのが短くなったものです。また5月にゴールデンウィークという大型連休があり、根津神社ではつつじが満開し、恒例のつつじ祭りをやっている最中です。

5月は「春暖花開」、「万物復蘇」、正に「播種」の好機です。

去る3月ではいろいろ出来事がありました。

博士協会は、半年以上に渡る長期選挙を経てやっと第10期理事会が誕生しました。今回の選挙では色々ありましたが、会員の皆様のご尽力・ご支援により様々な難関を乗り越えることができました。この紙面をお借りして会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

3月11日14時46分に発生し国内観測史上最大となった「東日本大震災」があった。この大地震とそれに伴い沿岸地域を襲った大津波は岩手、宮城、福島から関東地方の太平洋沿岸にかけて甚大な被害をもたらし、阪神淡路大震災をも上回る戦後最も大きな自然災害となりました。死者・行方不明者の数は2万7,000

人を超えたようです。ここに改めて震災で亡くなられた方々のご冥福を祈念し、謹んでお悔やみ申しあげますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

震災に対してわが博士協会も震災後の3月12日に素早く全日本中国人博士協会東日本大地震救援対応本部を立ち上げ、義援金の募金活動をスタートしました。その詳細は、震災救済レポートにて報告いたします。

ここに募金活動にご協力いただいた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

以上の状況を踏まえて第48号メルマガを会員の皆様にお届け致します。お時間のある時に、読んで頂ければ、幸いです。

今回は、初めてメルマガの編集を担当させて頂き、未熟で至らないところが沢山あると存じますが、会員の皆様のご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の編集に生かさせて頂きます。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

---

---

#### ◎第10期理事会の発足報告

李 磊・劉 真

博士協会会員の皆様

平素、全日本中国人博士協会の運営及び事業展開にご支援くださりまして誠にありがとうございます。

本会の現行規程に基づき、2010年7月に次期理事会の選挙を行いました。その後、協会の融合を図るため、第三者機関の仲介監督の下で、2011年2月の継続選挙も実施されました。2回に渡る今回の選挙は、公開、公正、公平の理念に務め、2010年7月12日時点で在籍の本会会員（会員数内訳：正会員約440名、内約160名会員長期連絡不通、準会員約35名）の中で、100名以上の正会員の直接投票（実質投票率36.8%）で、本会第10期理事会は2011年3月1日より正式に発足しました。

ここで、第10期理事会を代表して、第三者機関の方、選挙管理委員の方々及び会員皆様からのご信頼、ご支援に心より感謝し、本会の再建と更なる発展に微力ながら尽力していきたく存じます。

今現在本会第10期理事会メンバー（アルファベット順）は下記の通りです：

|     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 郭書祥 | 孔昌一 | 李建平 | 李 磊 | 李 明 | 李 卿 | 李睿棟 | 林敏潔 |
| 凌甦群 | 劉学振 | 劉 真 | 龐 楠 | 申雪寒 | 司宏俊 | 蘇 洲 | 滕勁兵 |
| 王秀崙 | 吳景龍 | 徐大威 | 朱 寧 |     |     |     |     |

監 事：劉占富 方 青

最後に、この場を借りて、会員皆様のそれぞれのご職場（または在学先）で、日中両国に渡る様々な舞台でご活躍をお祈り申し上げます。

全日本中国人博士協会第10期理事会

会 長 李 磊  
常務副会長 劉 真

2011年5月1日

<http://www.casej.jp/newpage/jp/html/lshgc.html>

---

---

## ◎第10期理事会選挙結果について

---

第10期理事会選挙管理委員会  
張偉・高紋・凌霄・方素平

各位會員

2010年12月28日在有关部门的协调下，由李磊博士和赵凤济博士署名的联合声明发表。声明中提出（1）不再纠缠谁是谁非的问题，着眼长远和未来，以政治决断的智慧和勇气，尽速结束博士协会目前的不正常状态。为此，现在的两个理事会从即日起自动解散，在7月份选举结果的基础之上（不改变原得票结果），通过继续（补充）选举的办法，完成有投票权的未投票者的投票，“原”得票加“新”得票合为最终得票数，据此组织成立正式的第10届理事会。（4）继续（补充）选举以两周为限，具体时期为：12月29日（星期三）成立扩大的“选举管理监督委员会”，12月30日（星期四）起，至2011年1月12日（星期三）中午12:00止为投票期间。

选举管理委员会鉴于以上的精神，承担起继续（补充）选举的工作。

12月29日：新理事会推荐方素平博士进入选举管理委员会。

1月7日：特别理事会推荐干力行博士进入选举管理委员会。（1月16日正式与干力行博士取得联系。）

投票期间：2011年2月21日 - 3月1日

继续（补充）选举的投票工作于3月1日正式宣布结束。

按照「联合声明」的规定，本次投票是在去年7月份进行的选举投票的基础上，完成对有投票权但尚未投票的会员的继续（补充）投票。这次发送的选票数为196张（上次选举时已经确认为有投票权的会员但未投票的共有150名，姓名未确认的有41名，老会员重新取得联系者有5名）。共收回选票22张（其中，有效选票21张，弃权1张）。选举管理委员会对21张有效选票进行了统计。另一方面，上次选举时收到的有效选票共82张（其中，已确认为有选举权的会员的有68张，姓名未确认14张）。

根据「联合声明」的规定：“原”得票加“新”得票合为最终得票。两次投票合计共有103张有效选票。

另外，在本次继续（补充）选举/投票期间，有候选人先后宣布退出选举。在这5名宣布退出选举的候选人中，有4名只通过博士协会的电子信网发表了声明，1名在发表声明的同时向选举管理委员会提出了辞退。但由于当时选票已经发送出去，已无法修改选票。因此，会员们对这些候选人也投了票，表明了会员们对这些候选人的充分信任。

选举工作已经结束。在此次选举中我们对投票的广大会员以及对那些理解、支持和协助选举工作进行的会员深表感谢。正是有大家的支持和协助，选举委员会才得以无私、中立、公正的完成了选举工作。

此次选举期间有数名会员反映没有收到选票，选举管理委员会在收到询问后，予以确认后重发了选票。并在选举期间发出呼吁，希望没有收到选票的会员与选举管理委员联系。选举管理委员会虽依据原事务局提供的名单发送选票，但有些会员的邮箱号码变更的情况未能掌握。望下一届选举时能解决好这一问题。

---

---

## ◎震災救済の呼び掛け

---

東日本大地震救援緊急対応本部

3月11日（金）午後から、宮城を始め、東北地方太平洋沿岸を中心に、日本国内最大規模の大地震を発生し、その後の津波や余震を加えて、既に死亡と不明者は1100人を超え、被害が更に拡大されると予想します。被災地の本会会員の安否を非常に心配し、このメールを受信したら、速やかに協会事務局：

office@casej.jp にご一報ください。大地震の対応について、食糧を十分確保し、避難場所、余震情報や津波情報等の必要な情報を随時収集し、その地域の方々と連携してこの難関を乗り越えましょう。また、中国大使館も緊急対応窓口を下記のように開設されていますので、必要な場合、ご利用ください。

<http://www.china-embassy.or.jp/jpn/sgxw/t805416.htm>

先日、博士協会理事会役割分担を添付のように確定されましたので、ご報告致します博士協会として、大地震救援、復旧支援への大地震緊急対応本部を下記のように、発足しますので、会員の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

全日本中国人博士協会  
東日本大地震救援緊急対応本部

会 長： 李 磊  
常務副会長： 劉 真  
副 会 長： 司宏俊（日本社会貢献担当、地震工学専門家）  
副 会 長： 朱 寧（福祉厚生担当）  
事務局 長： 李 明（建築工学専門家）  
副事務局長： 徐大威（地震対応ブログ担当）  
副事務局長： 李睿棟（会員管理担当）  
福祉厚生部部長： 林敏潔

以上

全日本中国人博士協会理事会  
2011年3月12日

---

#### ◎震災救済の義捐金募金経過

事務局 李睿棟・徐大威

#### 募金活動に関する博士協会からの通知

全日本中国人博士協会 会員の皆様

今回の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

我々の居住国である日本は史上最大の大地震災難を直面しております。博士協会の会員は国籍を問わず、すべて日本に留学し、日本政府や日本民間の様々な奨学金、研究助成金を恵まれた経験があると思います。日本人の方々から大変お世話になった記憶も多いと存じます。

是非我々の手を伸ばし、金額の多少に拘らず、本会会員はもちろん、募金趣旨に賛同してくださる友人の方々にもご案内し、募金に参加ください。

既に一部会員の方々から募金を受け取りました。この場を借りお礼を申し上げます。

皆様の温かい気持ちを必ず被災地の方々に伝えられると信じています。

義捐金の振り込み先は下記となります：

- (1) 銀行振り込みの場合  
三井住友銀行 平城支店  
口座番号： 0799297  
名 義： 全日本中国人博士協会

- (2) 郵貯銀行利用の場合

京都 貯金事務センター  
記号： 14480  
番号： 39524211  
名義： 全日本中国人博士協会

送金後、ぜひご氏名を博士協会大地震救援対応本部 dizhen@casej.jp にお知らせください。

全日本中国人博士協会東日本大地震救援対応本部 dizhen@casej.jp  
全日本中国人博士協会理事会 directors@casej.jp

~~~~~

博士協会救災過程

- 2011.3.11 在地震发生的第一时间，李磊会长，刘真常务副会长紧急和事务局商量，让事务局的发信给会员，建立初步的协会的对应窗口：
office@casej.jp.
- 2011.3.11 事務局調査到一些緊急の災害聯絡辦法告知會員
- 2011.3.12 李磊会长宣布成立全日本中国人博士協会東日本大地震救援緊急対応本部
- 2011.3.12 東日本大地震救援緊急対応本部发布博士協会地震情報交換ブログ
- 2011.3.12 李磊会长指示地震救援緊急対応本部找出東北的會員列表
- 2011.3.12 地震救援緊急対応本部发布博士協会會員安否情報確認の入力フォーム
- 2011.3.12 有會員提出葛宗濤和女儿尚未联系的上，司宏俊副会长立即通过电话确认，并告知會員
- 2011.3.12 地震救援緊急対応本部找出東北的會員列表，经过理事会内部的对一些會員的确认狀況，地震救援緊急対応本部发出信件对剩下的这些东北地区會員的安否进行确认
- 2011.3.13 地震救援緊急対応本部发布東北大学の受灾情况速報，让大家及时地掌握東北大学の受灾情况
- 2011.3.13 地震救援緊急対応本部发布東日本巨大地震寄付募捐
- 2011.3.13 地震救援緊急対応本部积极发布一些地铁运营情况，停电情况和一些灾害信息
- 2011.3.14 地震救援緊急対応本部发布東北大学情况和已确认人員名單
- 2011.3.14 祖国各地纷纷发来慰问
- 2011.3.15 地震救援緊急対応本部发布中国驻日本大使馆緊急公告
- 2011.3.15 地震救援緊急対応本部发布一些防辐射措施和知识以及東京附近的辐射量地震救援緊急対応本部发布安否确认协助请求，募捐信息，祖国各地的慰问，防辐射知识信息
- 2011.3.18 东北在住的所有會員的安全全部确认！感谢張書明博士，葛宗濤博士，常慶博士，吳景龍博士的大力协助。地震救援緊急対応本部发布募捐信息，祖国各地的慰问，防辐射知识信息
- 2011.3.23 地震救援緊急対応本部发布水放射线污染信息和相关知识
- 2011.4.1 地震救援緊急対応本部募捐結束，广大會員的积极参与，总共募金60万日元，至此救災工作告一段落

◎義捐金募金の報告

事務局・蘇 洲

3月11日に我々の居住国である日本は史上最大の大地震災難が発生しており、死亡者・不明者は、現時点、30000人に迫っています。津波による多数の犠牲者を出した悲劇に伴い、福島の原因事故の現状はまだまだ予断を許さない状況となっています。救命・支援・被災地の復興等に巨額な資金が必要となります。

3月13日、わが協会から會員の皆様へ東日本大地震義捐金募金のお知らせを出してから、4月1日までの三週間の間に、41名の方から合計60万円の義捐金を

受け取りました。皆さんの暖かい気持ちに深く敬意を申し上げます。

理事会決議により、頂いた義捐金は以下のように寄付することになりました：

- (1) 4月1日に、30万円を博士協会の名義で日本赤十字社に送金しました。
- (2) 4月4日に、30万円を日本新華僑華人会を経由し、日本外務省に寄付しました。

以上で、会員の皆様へ本募金活動の報告とお礼を申し上げたいと思います。本
当に有難うございました。一日も早い被災地の復興を心から願っています。

義捐金の名簿と金額

敬称略、	受付順	
3月14日	李 磊	50000円
3月14日	劉 真	20000円
3月14日	郭曉麗	20000円
3月14日	徐大威	20000円
3月14日	滕勁兵	10000円
3月14日	蘇 洲	20000円
3月14日	劉学振	10000円
3月14日	鄒珍珍	5000円
3月15日	殷仁忠	5000円
3月15日	胡哲新	10000円
3月15日	王玉来	20000円
3月15日	申雪寒	10000円
3月16日	李建平	5000円
3月16日	李 明	10000円
3月16日	金 俊	10000円
3月16日	蔣垂東	10000円
3月16日	朱 寧	20000円
3月16日	司宏俊	20000円
3月17日	石 岩	30000円
3月17日	孔昌一	30000円
3月17日	王秀崙	10000円
3月17日	李 卿	20000円
3月17日	郭 陽	10000円
3月17日	章志華	10000円
3月17日	劉占富	20000円
3月18日	黄紅斌	10000円
3月18日	張 偉	5000円
3月19日	康喜軍	10000円
3月22日	姜玉雁	10000円
3月22日	林敏潔	20000円
3月22日	凌甦群	20000円
3月22日	李睿棟	10000円
3月23日	方 青	10000円
3月25日	王漢文	30000円
3月25日	那日松	8000円
3月25日	杜 平	10000円
3月25日	吳玉英	5000円
3月28日	吉 勇	10000円
3月28日	錢 朴	5000円
3月31日	陳梅娟	20000円
4月01日	吳景龍	12000円

◎会則改訂近況報告

藤勁兵

皆さん、ご周知の通り会規改定委員会は昨年8月から発足以来、今まで人員の構成は12人に達しました。長い期間をかけて委員達の努力や知恵を出し合いしりたりして新会規のRev. 8が皆に公開できるようになりました。そして、会員審査を通してさらに現時点で計10人15件の提案がありました、ここで委員会全員を代表しご提案した方々に感謝の礼を申し上げます。続きまして、締め切りの5月10日までに集まった提案を素材し委員会内真剣に検討を行う。その後建設性提案を反映した修正案Rev. 9を再度理事会、会員の順で公開するつもりであります。

皆さんからの暖かい協力と忌憚なきの指摘・指導やご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。

会規改定専用ブログ : <http://casejrule.sblo.jp/>
認証ID: casej2010 パスワード : casej

注：コメントの提出は会員MLと専用ブログ両方可能ですが、業務上の都合で専用ブログの活用をお薦めしたいと思います。また、ブログ上の発言はリアルタイムで規改委全員に配布しますのでご安心ください。発信者は実名で署名をお願いします。

全日本中国人博士協会
会規改定委員会全員一同

◎全国政協向海外僑胞征集提言和建議

博士協会事務局

博士協会会員の皆様

中国人民政治协商会议第十一届全国委员会常委会第十四次会议, 将于今年6月在北京举行。会议围绕“十二五”规划纲要的实施, 确定以“加快经济结构战略性调整, 促进经济平稳较快发展”为议题, 分六个专题: 1. 强化价格调控监管, 保持物价总水平稳定; 2. 进一步做好“三农工作”, 夯实农业农村发展和农民增收基础; 3. 加快产业结构调整, 着力提高核心竞争力; 4. 优化区域发展格局, 提高发展的协调性和城镇化水平; 5. 坚持不懈地推进节能减排, 加强生态文明建设; 6. 坚持实施互利共赢开放战略, 拓展国际经济合作空间。

为充分发挥海外侨胞中专家学者的智力优势, 拟请海外侨胞结合自己研究的专业和关注的问题, 根据海外的成功做法和研究成果, 围绕以上议题撰写文章, 提出战略性的分析、建议, 以及解决问题的方法。请有兴趣的会员将建议在5月30日前提交到博士协会事務局 office@casej.jp。并附上建议人简介。本会将大家的建议一起提交给全国政协。

◎会員投稿

災害に備え・日本で生活する

故郷雲

「海はかた（傾）ぶきてくがち陸地をひたせり。土さけて水わきいで、いはほ（巖）われて谷にまろびいる…はしりいづれば、地われさく。はね（羽）なければ、そらをもとぶべからず」（鴨長明 方丈記）。

日本は世界有数の“地震の巣”と言われており、海底地震による津波が日本史上にも多く発生し、「TSUNAMI」が国際共通語となっているほどです。天災の激しさは、今回の東日本大震災を経験した私たち、在日中国人にとっても、自然の猛威を改めて思い知らされることに違いありません。特に私は留学時代を東北地方で過ごしており、青春の地・第二の故郷とも言えるこの地域の凄まじい被災の姿を目にし、胸が詰まる思いでいっぱいでした。

地震・津波・原発事故、史上最大級の天災に人類史上二番目の原発災害。1ヶ月以上を経た今でも、死者への鎮魂と生者への希望を祈りつつ、一日も早く災害の収束と日本の復興を願っております。これまで幸い、わが博士協会の皆様は一人ひとりご無事なようです。しかしながら「備えあれば憂いなし」、現在原発事故の収束が長期化すると懸念されている中、いくつかの情報を皆様と共有させて頂きたいと思っております。

- ・ 4/21 付のニュースに、千葉と茨城両県の女性の母乳から1キロ当たり最大36.3ベクレルの放射性ヨウ素131が検出されたとの記事がありました。
<http://www.chosunonline.com/news/20110421000020>
- ・ 日本の原発事情について、ある現場作業者が残したブログです。「原発がどんなものか知ってほしい」 --- 平井憲夫
<http://www.iam-t.jp/HIRAI/index.html>
- ・ 博士協会の地震専用ブログ (by 徐大威理事)
<http://casej-jishin.sblo.jp/>

おわりに、「命に過ぎたる宝なし」。皆様には健康を第一に、安全を第一に、日々気をつけてくださるよう切実に願っております。

~~~~~

### 千紫万紅高尾山、森林浴好季節

張 偉

近頃パワースポットとして注目されている高尾山で、森林浴を体験できるということで非常に楽しみにしておりました。

当日、幼い子供を連れている親子の姿や、青年・中高年の「年富力壮」の方、そして杖をつく年配者グループなど、幅広い世代の登山客が道に溢れる程いることに大変驚きました。

朝の空気は澄んでおり、空も清清しく、登山にはもってこい天気日和でした。初冬の高尾山は、麓から山頂まで樹木と植物が緑、黄、紫、赤などとても多彩で美しく、正に「層林尽染、千紫万紅」の情景でした。思わず、新鮮な樹木の良い香りを肺一杯にたっぷり吸い込み、頭から心まで癒されたように感じました。

途中、無数の樹木が登山路の両側に立ち並ぶところがあり、空が見えないほど茂っている中で溢れんばかりの新鮮な空気に身を包まれたような気がしました。3キロ余りの登山路を辿って山頂に到着したとき、やや汗ばみましたが、気持ちが大変すっきりしました。展望スポットから周りを見渡すと、周辺の山々が延々と繋がり、薄い霧が谷から昇り、さらに色濃い山と淡い谷の濃淡で構成された雄大な景色に、言葉では表現できない程その美しさに大変感動してしまいました。日ごろ、朝から晩まで職場の密閉された空間の中で過ごしていたため、溜め込んでいた精神疲労、ストレスなどはその時一気に開放されたように感じました。

山頂の上にあるあずまやで一服を取り、皆で昼食をとりながら、「天南海北」に語り始めました。今回の参加者の中では、発案者の李さんと数人の知人以外は



ほとんど始めて顔を会わす方ばかりでした。そのため、このような新朋老友が集った場で話しをする機会はありませんでした。皆さんの「笑語歓声」は尽きませんでした。

下山は稲荷山コースから始まりました。この道は登山道の雰囲気とは異なり、「曲経通幽」のような道でやや細めで湾曲が多く、道の両側に巨木が数多くそびえ立っていました。樹木の陰がつくるノスタルジックな雰囲気をしみじみ感じながら下山しました。これこそ森林浴に最も理想的な道だろうと思いました。このような清らかで静かな環境の中で、何か別の要素を入れれば更に楽しくなるのではと思い、リュックサックから自作の「口笛」（竹製）と「竹笛」を取り出しました。まずは口笛で小鳥の鳴き声を出しましたが、残念ながら初冬の季節で、小鳥の「友声」を聞くことはできませんでした。竹笛で「天路」や「我的祖国」など皆さんが知っている曲を吹くと、多くの方から共感してもらい、森林の中で歌を歌いながら山を降りました。大自然の中で笛音、歌声、植物葉の風に揺れる音が一体となり、ロマンチックな交響詩を味わいながら心行くまで森林浴を楽しみました。

今回の森林浴に参加して、心身ともに浄化されたように感じました。機会があれば是非また参加したいと思っております。

---

---

### ◎会員状況

事務局

今日現在までに、474名会員が在籍しています。

---

---

### ★投稿募集

協会のメルマガが月1期を発行しています。会員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからの投稿をお待ちしております。

連絡先：メルマガ編集委員会 mailmag@casej.jp

---

---

### ★事務局からのお願い

転職や就職などでメールアドレスの変更が発生した場合には、ぜひ事務局あて (office@casej.jp) にご一報ください。

---

---

本期編集担当：李卿・康喜軍・事務局  
校正：劉真・李明・孔昌一  
配 信 元：全日本中国人博士協会事務局 office@casej.jp  
http://www.casej.jp  
Copyright (c) 2011 全日本中国人博士協会 All rights reserved.

---

---